

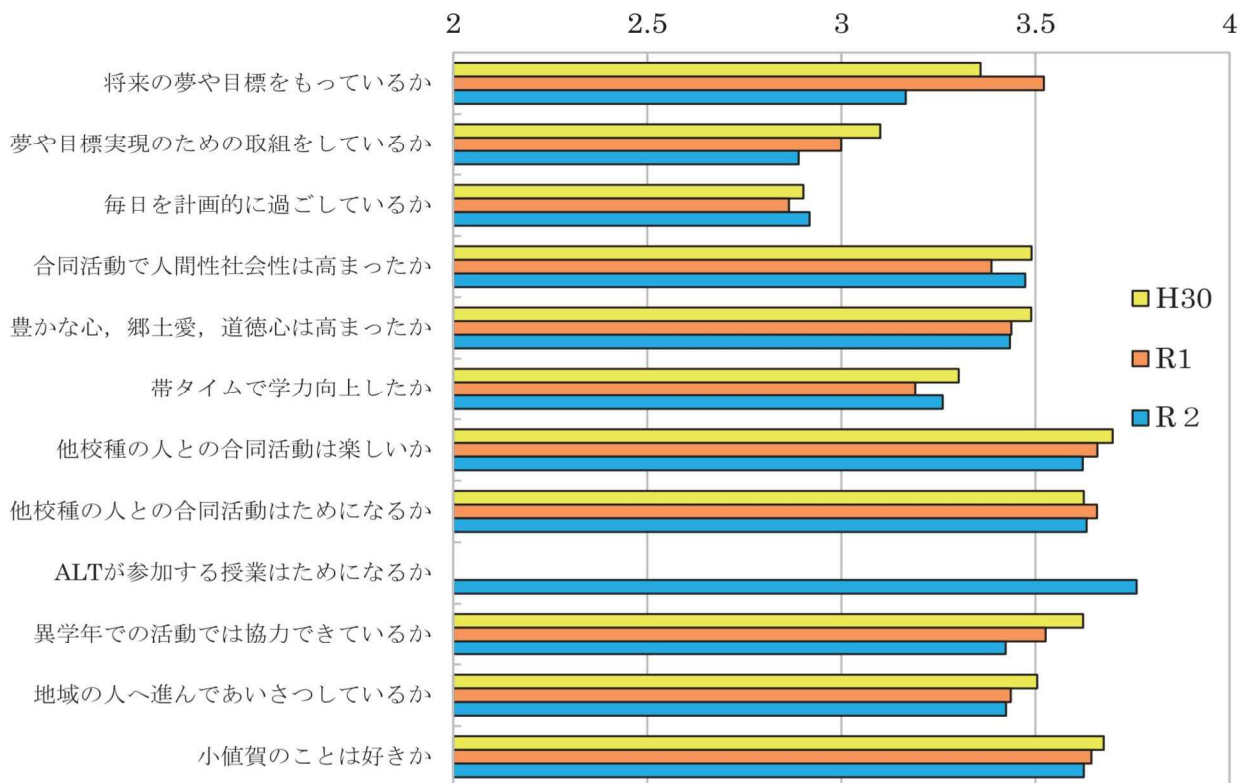
小中高一貫教育報告 173



小値賀町小中高一貫教育「検証アンケート」の報告

11月に実施した小値賀町小中高一貫教育についての成果と課題を検証する「検証アンケート」への御協力ありがとうございました。アンケートは、小値賀町の全児童生徒、保護者、教職員を対象に行いました。今回は、その中から、児童生徒の意識調査の結果について報告します。

児童生徒アンケート



・調査時期・・・令和2年11月 ・調査対象・・・小値賀町小中高全児童生徒・保護者
 ・調査方法・・・質問紙アンケートによる4段階評価

成果

児童生徒アンケートの中で、成果としてとらえている項目は、下の3つです。

- ・「合同活動で人間性社会性は高まったか」(3.57)
- ・「他校種の人との合同活動は楽しいか」(3.65)
- ・「他校種の人との合同活動はためになるか」(3.67)

この結果から、校種を越えた異学年間での交流活動を深めながら、楽しさを味わい、自身の成長を感じていることがうかがえます。また、その成果により、合同行事などの「合同活動」を児童生徒自身が意義あるものとしてとらえることができているととらえます。

課題

一方、今年度評価を下げた項目は、

- ・「将来の夢や目標をもっているか」(3.17前年比↓0.36)

内訳をみると、高校生は安定して高い評価(3.85)でしたが、小(3.03)中(2.62)学生において評価を下げています。今後、小中高それぞれの時期に応じた働きかけが必要であると考え、キャリア教育とも連携しながら、改善方を講じていきます。

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

小中高一貫教育報告 174



令和3年度がスタートしました。小値賀町小中高一貫教育研究は、14年目を迎えます。小中高校ともに、新しいメンバーが加わり、新たな気持ちで取り組んでまいります。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 学力向上部 (学力の向上)

- 主体的・対話的で深い学びへの授業改善をめざして
 - ・ 文章や資料などから必要な情報を読み取る力
 - ・ 根拠を明らかにして自分の考えを他者に説明する力

(2) 教育課程部 (生活力の向上)

- ① たくましさの育成 ~合同行事のPDCAサイクルの構築~
- ② キャリア教育の充実 ~キャリア教育の研修と実践的検証~

(3) 記録広報部 (家庭・地域との連携)

- ① おぢか新聞での広報活動の継続と記事の充実
- ② 生活アンケート調査項目の内容検討および2つのアンケート結果を受けての各部との連携

本年度の合同行事など予定

行 事	期 日	校種	内 容 等
小中高合同歓迎遠足	4/23	小中高	小中高の児童生徒が合同で行う最初の行事です。それぞれの新入生を歓迎するレクレーションも行います。
第1回 小中高一貫教育合同会議	4/23	全職員	教育委員会、小中高各校の教職員が一堂に会し、小中高一貫教育について理解を深め、本年度の活動計画などを立てます。
海浜清掃	6/25	小中高	奉仕活動を通して、郷土を愛する心を育てます。
公開授業ウィークス	6/21~25 6/28~7/2	太島・高 小中	授業を公開します。
アジカまぼこ作り	6月下旬	小中	郷土料理作りを体験し、郷土の味についての理解を深めます。
第2回 小中高一貫教育合同会議	7/21	全職員	小中高一貫教育の進捗状況や各種行事について検証します。
中高合同体育祭	9/5	中高	目標に向かって、中高生が自主的かつ協力的に活動を行います。
前期遠足	9/24	小	小学1~4年生で遠足に行きます。小学4年生がリーダーとなり計画活動することを通して、リーダー性を育成します。
研究授業ウィークス	10/11~22	小中高	小中高の各教科による研究授業。授業前後の検討などを通して、「よりよい授業」を目指します。
心の教育講演会	10/12	中高	後期(中2~高3)における生徒の心の発達を助長することを目的とします。
English Day	11/16	小中高	小5~高3までの児童生徒と一緒に、英語のアクティビティに参加します。
第3回 小中高一貫教育合同会議	11/25	全職員	小中高一貫教育の進捗状況や県外視察の報告を行います。
小中ロードレース	1/26	小中	目標に向かって取り組む強い意志、持久力や忍耐力の育成を図ります。

今年度転入教職員へのレクチャー研修

4月に着任した転入職員に対して「小値賀町小中高一貫教育」についてのレクチャー研修が行われました。小値賀の小中高一貫教育のねらいや内容、これまでの経緯などを知り、本取組を推進していく一員として、これまでの経験を十分に発揮していただくことでしょう。



(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

小中高一貫教育報告 175



小中高一貫歓迎遠足を実施しました！

4月23日(金)に小中高合同歓迎遠足を実施しました。昨年度は新型コロナウイルスの影響もあり中止されたため、2年ぶりの歓迎遠足ということもあり、子ども達はとても楽しみにしていました。

小中高児童生徒157名と職員が一堂に会し、交流を深めました。公園には元気な声が響きわたり、笑顔いっぱいのもっとも楽しい歓迎遠足になりました。



小中学校の運動場から、前浜公園に向かいます。今年は小1、小6だけではなく、昨年度一緒に歩くはずだった小2、中1もペアになって歩きました。小中高一貫だからできることですね！



新入生紹介の様子です。
高校生は一発ギャグで
皆を笑顔に
してくれました。



待ちに待ったお弁当の時間です。美味しいお弁当に、笑顔がこぼれました。おなかが満たされたら自由時間！校種関係なく遊ぶ姿がたくさん見られました。とても素敵な時間を過ごすことができました。

午後からは小値賀町教育委員会、及び関係各学校の全教職員が一堂に会し、小中高一貫教育合同会議を開催しました。取組内容、今後の方向性について話し合い、小中高一貫教育のさらなる充実を図りました。

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

小中高一貫教育報告 176



小学校運動会が実施されました

小中高一貫教育報告ではありますが、今回は、5月30日(日)に実施されました、小学校運動会についてお知らせいたします。

運動会当日は、五月晴れのもと、素晴らしい運動会を行うことができました。保護者の皆様や地域の皆様にもたくさんご協力をいただきありがとうございました。子どもたちは、毎日、練習を頑張ってきました。その成果を十分に発揮できたのではないかと思います。また、高学年の子どもたちは、自分の競技だけでなく、係の仕事や応援団、同じ色の下級生への声掛けなどもしっかり行うことができていました。このようなつながりを大切にしてこれからも頑張してほしいと思います。応援に来ていただいた中には、中学生や高校生の応援もあり、とても心強かったです！中高合同体育祭も楽しみにしています！



(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

小中高一貫教育報告 177



アジかまぼこ作り ～小値賀のアジかまぼこを作ろう～

6月22日(火)、小学校3年生と中学校3年生が合同で「アジかまぼこ作り」を行いました。この行事は、かまぼこ作りを通して小値賀の自然や海の資源について学び、大切にすることを目的としています。昨年はコロナ禍で中止となっていた行事でしたので、一年ぶりの実施となりました。今回も「ふるさとの味・かーちゃんの味つたえよー会」の皆様、産業振興課の皆様のご協力のもと、子どもたちは楽しくアジかまぼこ作りに取り組むことができました。

【感想】

かーちゃんの会の方や小学生と、話しながら活動できました。アジのさばき方も詳しく教わったので、機会があれば実践してみたいです。(中学3年生)

内臓を取るときに中学生のお姉さんやかーちゃんの会の方から教えていただき、上手くできるようになりました。(小学3年生)



小中高合同海浜清掃を行いました

6月25日(金)、小中高合同で船瀬、赤浜、地ノ神島神社、姫の松原、大島の清掃活動を行いました。この行事は地域の環境の実態を知り、環境保全の意識を高めるとともに、学年を超えて協力し交流を深めることを目的としています。当日は、児童生徒がいくつかのグループに分かれ、高校3年生のリーダーを中心にみんなで協力して活動しました。子どもたちは一生懸命作業に取り組み、それぞれの持ち場をきれいにすることができました。活動の感想として高校生が「プラスチックごみが多く、いずれマイクロプラスチックとなり私たちの体に影響を及ぼす可能性があるため、今後もきれいな海にしていきたい。」と話しました。

収集したゴミの運搬などにご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)

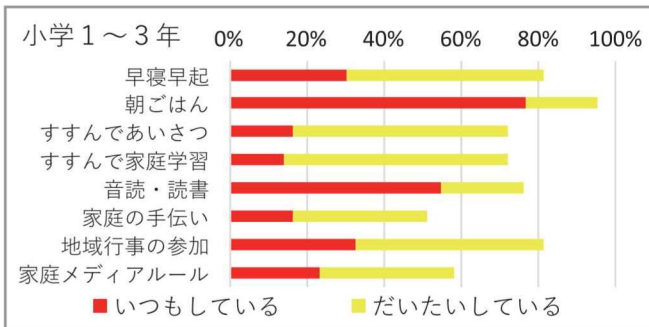


小中高一貫教育報告 178

生活アンケート集計の結果を報告します

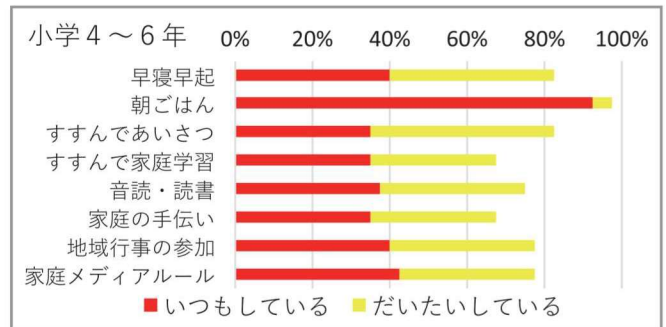
6月に実施した「生活アンケート」の集計結果を報告します。子どものよりよい生活習慣の定着は、学校、保護者、地域が一体となって取り組んでいくことが必要であり、子どもたちの学力向上やたくましさ育成の基盤となるものです。今回のアンケート調査をきっかけに、子どもたちのよりよい生活習慣の定着について家庭や地域で話題にしていいただければと思います。

(令和3年6月7日～14日実施 対象：小学生・中学生・高校生全員)



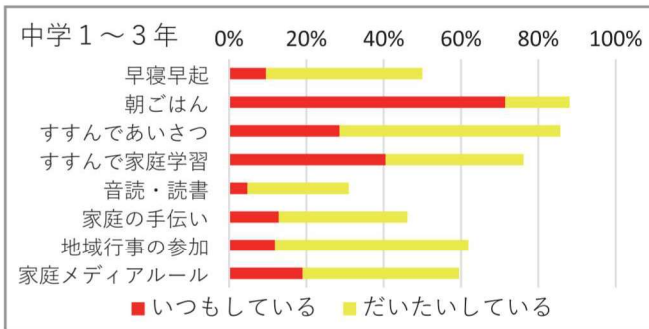
【小学1～3年】

- 「早寝早起き」の定着意識が100%となり、昨年度の81%から大きく改善された。朝ごはんの定着意識と合わせて、基本的な生活習慣は概ね定着している。
- 昨年度と比較して、「家庭の手伝い」(51→65%)「家庭メディアルールの設定」(58→75%)についての定着意識が伸びている。



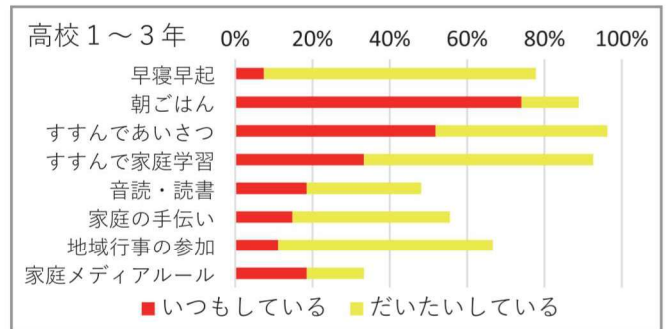
【小学4～6年】

- 昨年度と比較して「家庭メディアルール」の定着意識が良くなっている。(69→77%)。
- 昨年度と比較して「家庭の手伝い」については、81→68%と最も低下幅が大きくなっている。自己有用感を育てる意味でも、各家庭での協力をお願いしたいところである。



【中学1～3年】

- 早寝早起きが定着している生徒が昨年より20ポイント減少した。
- 家庭でのメディアルールは昨年度よりも定着しており、家庭の協力の成果が表れている。
- 音読・読書については、本に触れる機会を増やしたり、本に興味を持ったりできるように、学校と家庭が連携した取組を行っている。



【高校1～3年】

- 生活面や学習面においてはよい。このことは進路実現に向けて自分がやるべきこととして認識できているとうかがえる。
- 「メディアのルール」については低い状態が続いている。今年度から高校でも一人1台タブレットの導入が始まるため、家庭でのメディアルールに取組む課題である。情報モラルの充実も図りたい。

中高全体の傾向を見ると、「朝ごはん」をとる習慣がしっかりと定着しています。これは小値賀の家庭教育の強みであると考えます。また、昨年と比較して「家庭でのメディアルール」の設定についての改善が見られました。これは「メディアコントロール週間」など、養護部会を中心に小中高で重点的に取り組んだところでもあり、家庭での御協力に感謝いたします。今年度も、本調査結果を踏まえ、小中高で一貫して取り組める利点を生かしながら、子どもたちのよりよい生活習慣づくりを目指していきたいと思っております。家庭・地域での御協力をお願いいたします。

小中高一貫教育報告 179



教科部会を行いました

7月30日(金)臨時に各教科部会を行いました。

10月に実施する研究授業ウィークスについて話し合い、それぞれの手立てに基づいた授業研究を行いました。小中高が一体となって授業改善への研究を深めていきます。

教科	手 だ て	部 長	研究授業
国 語	読む力の育成～説明的文章・評論の読解を通して～ 手だて ICT機器を活用した対話活動の充実	上戸 春奈 (高)	小宗 武裕 (高)
生活・社会	主体的・対話的で深い学びの活動を取り入れた生活科・ 社会科・地歴公民科の授業実践～ICTの活用を通して～	大山 恵美 (小)	小田崎 聖 (高)
英 語	「表現力の向上」に向けて、自分の考えを伝える活動を 意識的に取り入れる	本村 美帆 (中)	本村 美帆 (中)
算数・数学	根拠を明確にして説明する力を伸ばす算数・数学科授業の 実践	寺園美奈子 (高)	寺園美奈子 (高)
理科・情報	校種連携による探究活動をともなった主体的学習態度の 育成	友永 沙希 (高)	友永 沙希 (高)
技能教科	深い学びの広がりとして他教科からの視点を取り入れる	樽美 美奈 (中)	中尾あゆみ (分)

ジェイアール先生 お元気で!!

8月1日、英語を教えてくださいましたALTのジェイアール先生が故郷のアメリカに帰国されました。ジェイアール先生は、3年間、北松西高に勤務されました。高校をはじめ、小学校や大島分校、中学校の児童生徒の英語学習にご尽力いただきました。

アメリカでのご活躍をお祈りしております。



3年間お世話になりました。小値賀に配属されて幸せでした。素晴らしい子供達に出会うことができ、日本での生活がとても充実したものになりました。ありがとうございました。 ジェイアール



小中高一貫教育報告 180

令和3年度 中高合同体育 成果発表会を開催しました

新型コロナウイルス感染拡大により、長崎県の感染段階がステージ5に引き上げられ、県下全域に独自の緊急事態宣言が発令されました。そのため、9月5日(日)に開催予定だった中高合同体育祭をやむなく中止とし、その代替として9月2日(木)に中高合同成果発表会を開催しました。当日は、感染拡大防止策として完全無観客(学校関係者のみ)で行いましたが、中高生が一緒に行進を行う姿は、保護者の方々に是非見ていただきたい光景でした。

生徒は、「輝け 勝利に向かって!!!」のスローガンのもと、中学生と高校生が青ブロック、赤ブロックに分かれ、行進、ブロック応援(高校生のみ)を行いました。高校生を中心に、1学期から準備してきた成果がしっかりと発揮され、最後の記念撮影もみんな笑顔があふれていました。



赤組の入場行進



青組の入場行進



赤組の応援幕



青組の応援幕



赤組のブロック応援



青組のブロック応援

全体集合写真



実行委員長 西 茉璃子 さんの感想

中高合同体育祭の練習が始まったとき、昨年より高校3年生の人数が少なく、計画を立てる上で不安でした。でも、同学年を始め、高校1・2年生、中学生が協力してくれて、とても助かりました。中止の話聞いたときは、本当に残念でしたけど、先生方が成果発表会という形で機会を作ってくれて感謝しています。達成感でいっぱいでした。ありがとうございました。

小中高一貫教育報告 181



令和3年度「研究授業ウィークス」を実施しました

令和3年度の小中高一貫教育研究授業ウィークスを実施しました。この取組は、『主体的・対話的で深い学びへの授業改善をめざして』という目標に向け、小中高職員一丸となって児童生徒の学力向上に繋げようとするものです。この期間6回の研究授業が行われましたが、その中の全体授業の様子を写真でご紹介します。

〔中3・高1理科 授業者：友永沙希・高原健吾〕



〔高1国語 授業者：小宗武裕〕

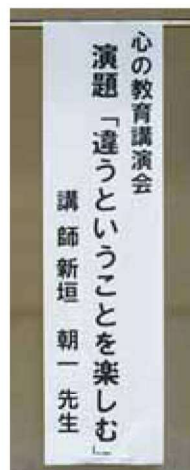


令和3年度 後期「心の教育講演会」を開催しました

10月12日(火)に高校体育館において「心の教育講演会」が開催されました。今年度は国内外の音楽イベントを企画・運営されている講師の新垣朝一先生に沖縄からオンラインで講話をしていただきました。



中学2年生～高校3年生が対象



真剣に話しを聞く生徒たち

御礼の言葉 牧尾 ありす さんの感想

今回の講話を通して、お互いに違うことを否定的・批判的に捉えず認め、理解し合うことの大切さや、どんなことでも一生懸命取り組むことで、将来に活かすことができることを改めて知り、学校生活や進路選択などの参考になりました。今後も「違う」ということを楽しみながら過ごしていきたいと思います。

小中高一貫教育報告 182



令和3年度「English Day」を実施しました

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で校種別の実施になりました。高校では、前半にチーム対抗の英語クイズ大会、後半にゲストをお招きしてのグループディスカッションを行いました。もちろん会話は全て英語です！楽しみながら英語を聞き、英語を使う貴重な機会となりました。



「第3回小中高一貫教育合同会議」を開催しました

11月25日(木)小値賀小・中学校において、第3回の小中高一貫合同会議が開かれました。全体説明会のあと、島根県吉賀町の先進校視察報告があり、その後各部会・各教科部会がありました。久々に小中高の各先生方が集まり、活発な会議が行われました。



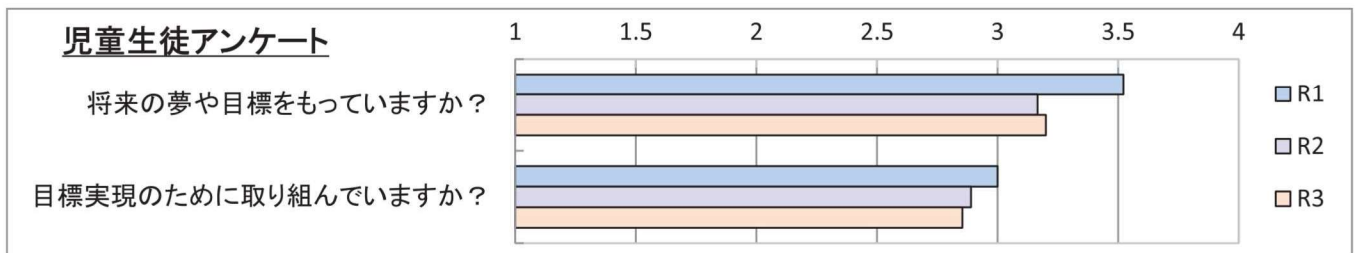
小中高一貫教育報告 183



検証アンケートの結果を報告します

小値賀町小中高一貫教育の全体目標は、「一人ひとりの夢の実現」です。小値賀の子どもたちが夢を抱き、夢に向かって歩いていく姿を後押しするために、小中高が協力連携をしながら教育活動に取り組んでいます。今回のアンケート結果で特に注目した点は、「将来の夢や目標をもっていますか？」また「その目標実現のために取り組んでいますか？」という質問です。この問に自信をもって『はい』と答える子どもが増えることを願っています。

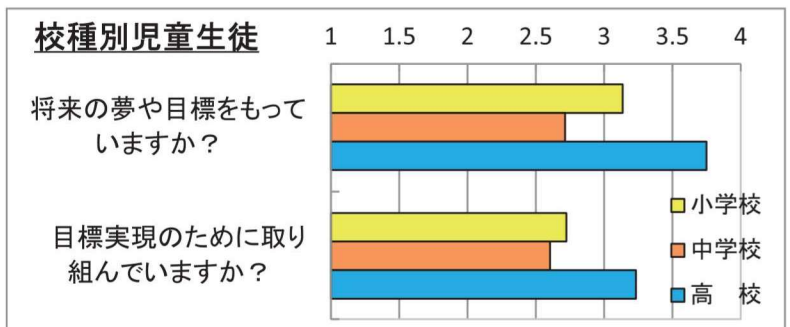
(調査時期：令和3年11月 対象：小値賀町小中高全児童生徒・保護者 調査方法：質問紙アンケートによる4段階評価)



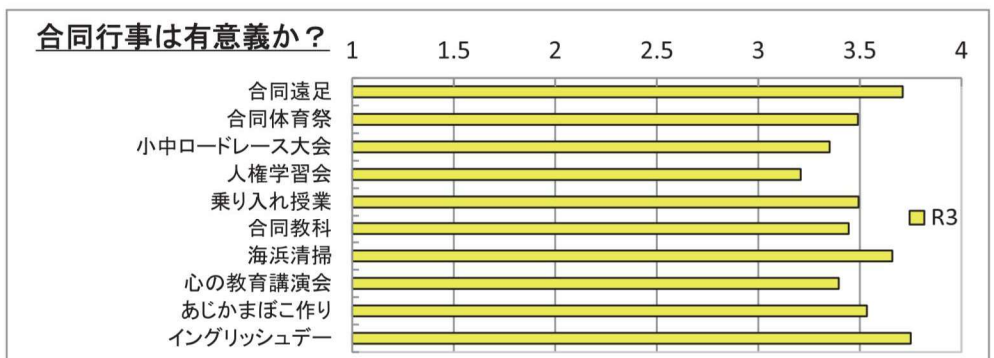
上のグラフから、ここ3年間の推移を比較すると、令和元年度をピークに低下しています。

同じ質問を校種別に比較すると、高校生は例年高い傾向にあります。(右グラフ)

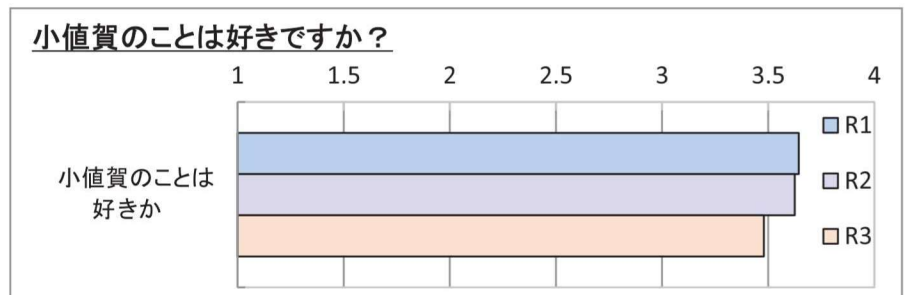
一貫教育の出口としては一定の成果ととらえますが、小・中学校においてもそれぞれの発達段階で、夢や目標に向かう姿勢は備えてほしいと思います。



右のグラフは、保護者による合同行事の評価です。小中高高校生が校種を越えて交流する活動が高い評価を得ています。なお、令和3年度から「イングリッシュデー」は小・中学生と高校生は別開催となりました。



小・中・高校のそれぞれにおいて、総合的な学習(探究)の時間等を通して、小値賀についての学びを深めています。来年度から、その核となる「小値賀学(民泊体験・卒業レポート)」を計画しています。



検証アンケートへの御協力ありがとうございました。今回お伝えした内容以外の結果は、「令和3年度 小値賀町小中高一貫教育研究集録」(令和4年2月発行予定)に掲載しています。同集録には、アンケート結果の他に、研究概要や今年度の研究授業ウィークスで実施した学習指導案等を掲載しています。お求めの場合は、小値賀町小中高一貫教育事務局(56-3838 教育委員会)までお問合せください。

小中高一貫教育報告 184



残念ながら… 今年度の小中合同ロードレース大会は中止

1月26日(水)に予定されていた小中合同ロードレース大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施が見合わせられました。本番を迎えるまで、小学6年生2名と中学生6名によって結成された「ロードレース実行委員」を中心に準備と練習を重ねてきました。小中合同で編成されたグループでの顔合わせでは、班のめあてを決めたり、お互いに声を掛け合いながら練習に取り組んだりしました。その中で、中学生は小学生を励ましながら、また、その頑張る小学生の姿に中学生も刺激され、お互いに力を高め合いました。残念ながら本番は中止となりましたが、あきらめないでやり抜こうとする気持ちやきついことにも挑戦する気持ち、一緒に練習を頑張った仲間への気持ちなど、練習の過程で大いに学びました。



みんなで体操です！



まずは自己紹介です。



班のめあてを話し合います。



大島を走る子どもたち



励まし合いながら走る小学生と中学生



中学生実行委員長さんコメント

委員長として、また中学生として小学生のサポートを行い、積極的に仕事に取り組むことができました。練習では、声をかけながら走る中学生や、それに励まされ自らの記録を高めようとする小学生の姿が見られました。

(小値賀地区小中高一貫教育推進委員会 事務局)